

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第29号

第42週(10月15日～10月21日)

発行年月日:平成13年(2001年)10月29日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (42週)	累積報告数 (1週～42週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	4
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	43
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5
	急性ウイルス性肝炎	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	3
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	0	3
	レジオネラ症	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	42週	増減	36～41週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0		0.06
A群溶連菌咽頭炎	0.27		0.13
感染性胃腸炎	0.52		0.62
水痘	0.40		0.31
手足口病	0.31		0.34
伝染性紅斑	0.13		0.16
突発性発疹	0.29		0.37
百日咳	0		0.01
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0		0.05
麻疹	0		0.01
流行性耳下腺炎	0.58		0.51
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.14		0.31
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0		0.07
マイコプラズマ肺炎	0		0.26
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、36週～41週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

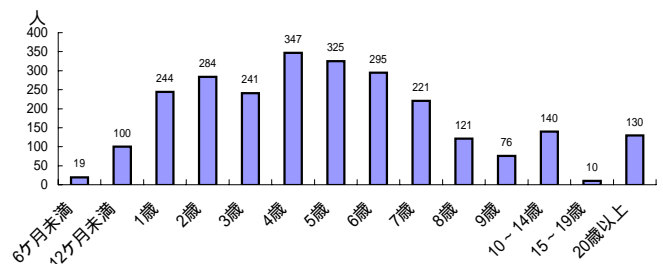
* **太字**は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、36～41週の平均と42週を比較すると、A群溶連菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎に増加傾向が見られます。また、今週(42週)のA群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の定点当たり患者報告数は、先週(41週)より増加しています(グラフ2～3ページ参照)。A群溶連菌咽頭炎の年齢別患者報告数は下記のグラフのとおりです。

A群溶連菌咽頭炎年齢別患者報告数
(滋賀県 H.11年14週～H.13年42週)



A群溶連菌咽頭炎:

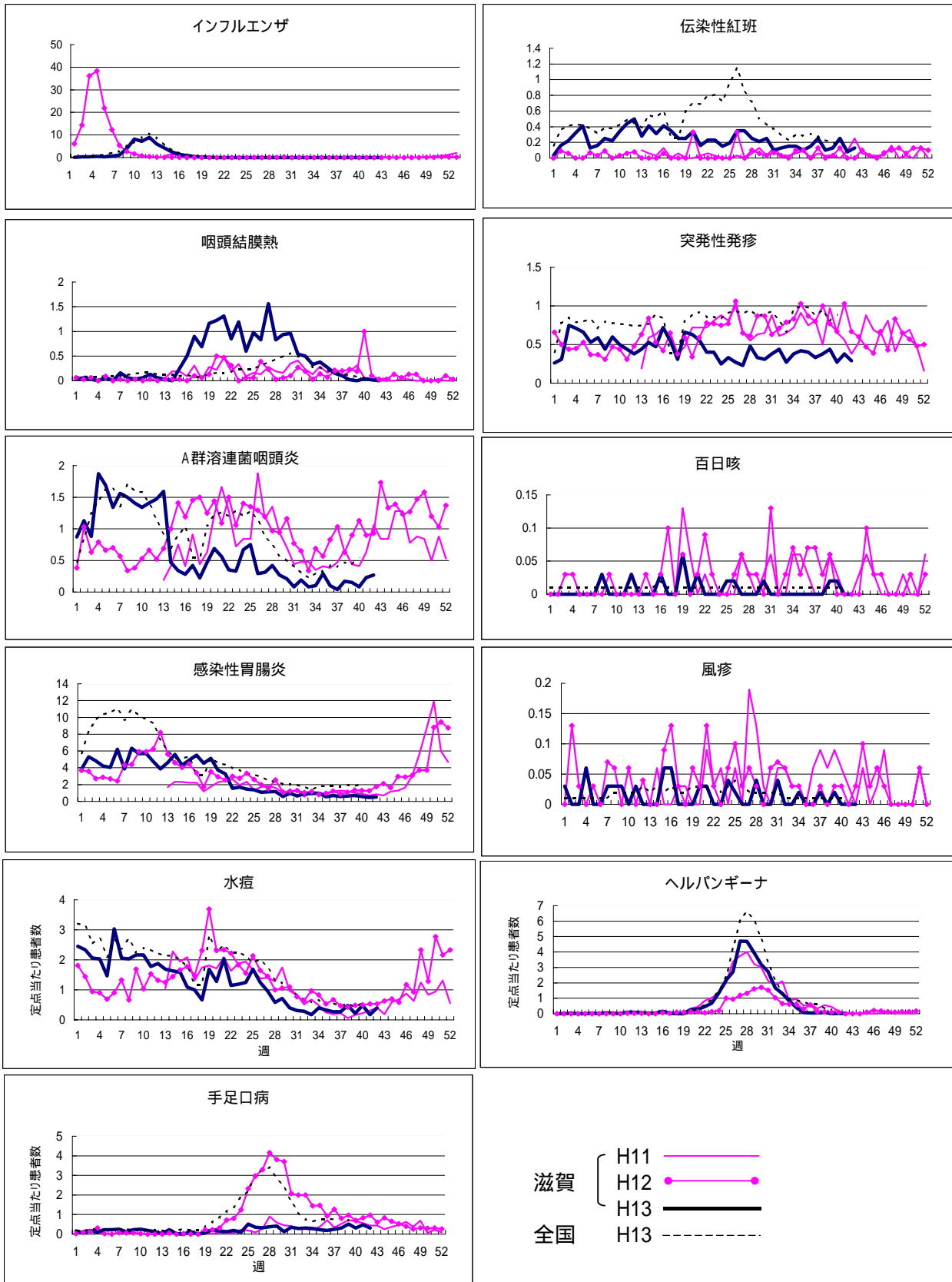
A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる疾患で、急性咽頭炎、膿痂疹、蜂巣織炎は日常よく見られます。これら以外にも中耳炎、肺炎をおこすこともあります。発症年齢は、学童期が最も多いとされています。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが重要ですが、一般的な予防法(うがい、手洗い)を励行することも必要です。



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

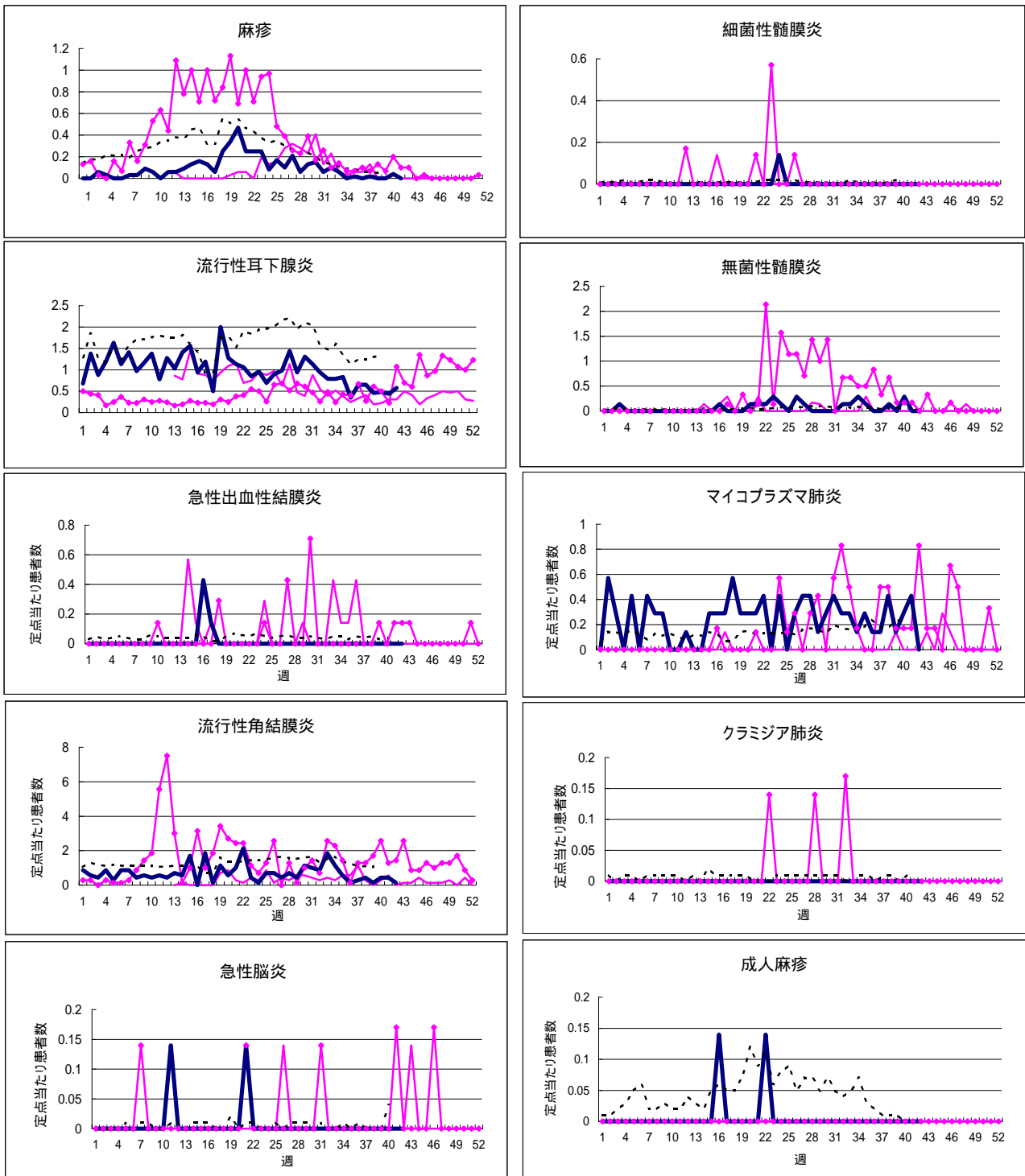
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第42週)



* グラフ配列の変更について
SIDR1ページの2) 定点把握の対象となる4類感染症
の表のとおりに変更しました。

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第42週)



* グラフ配列の変更について
SIDR1ページの2) 定点把握の対象となる4類感染症
の表のとおりに変更しました。

滋賀	{	H11	—
		H12	—●—
		H13	—
全国		H13	- - - -